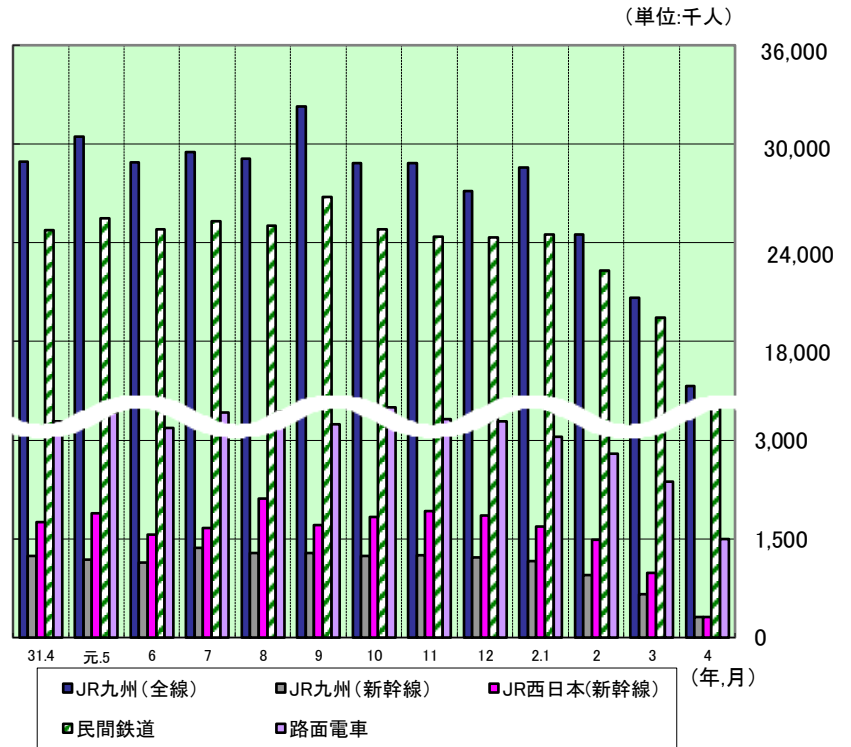
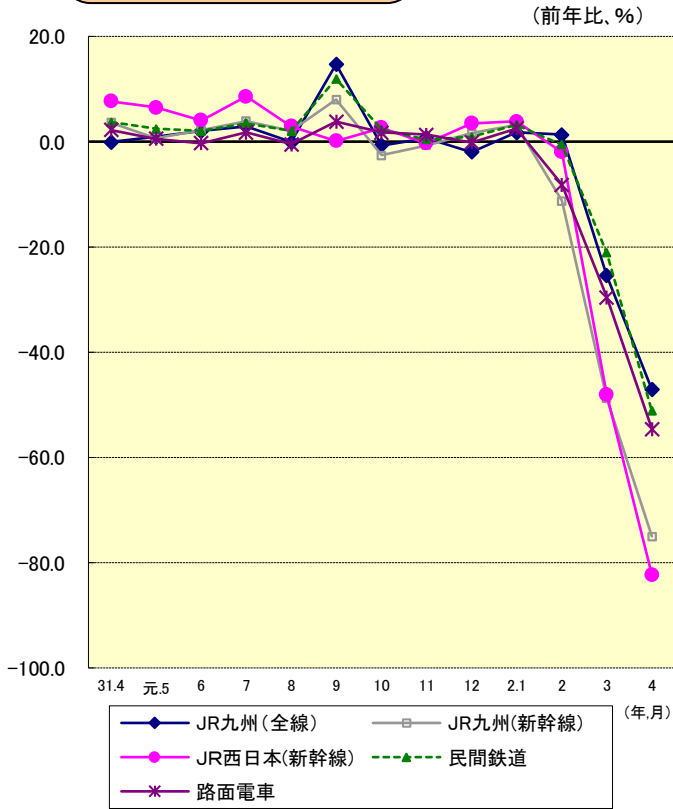


# 九州のうんゆ（令和2年4月実績）

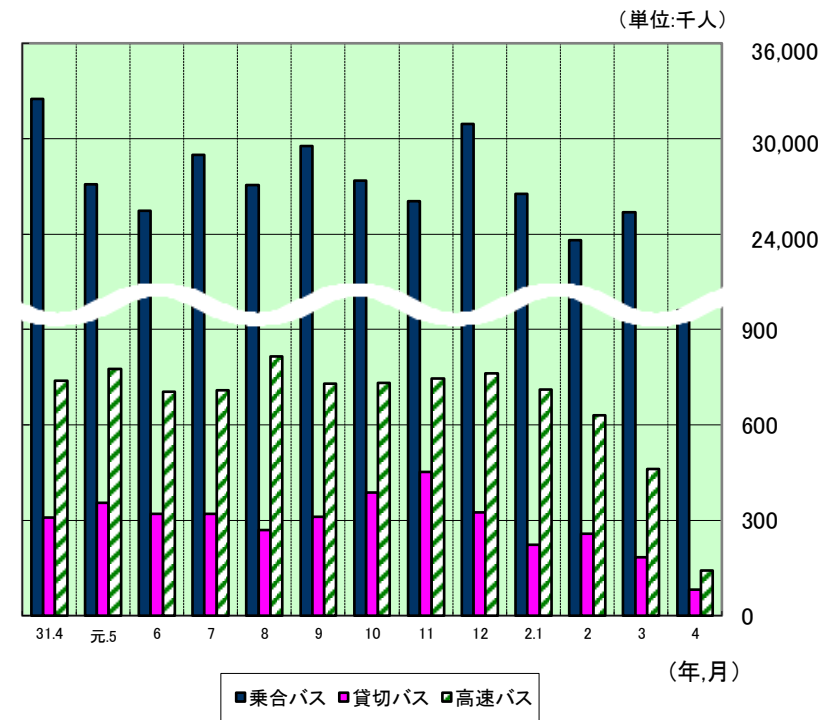
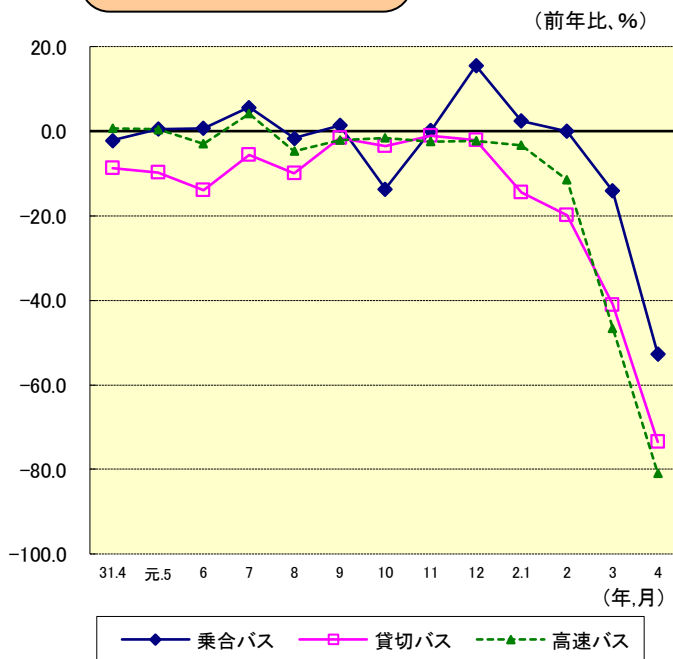
※物流のトラック一般貨物・海上貨物、造船は、令和2年3月実績を掲載。 ※速報値のため修正する可能性があります。  
令和2年6月22日公表

## 旅客

### 鉄道《輸送人員》

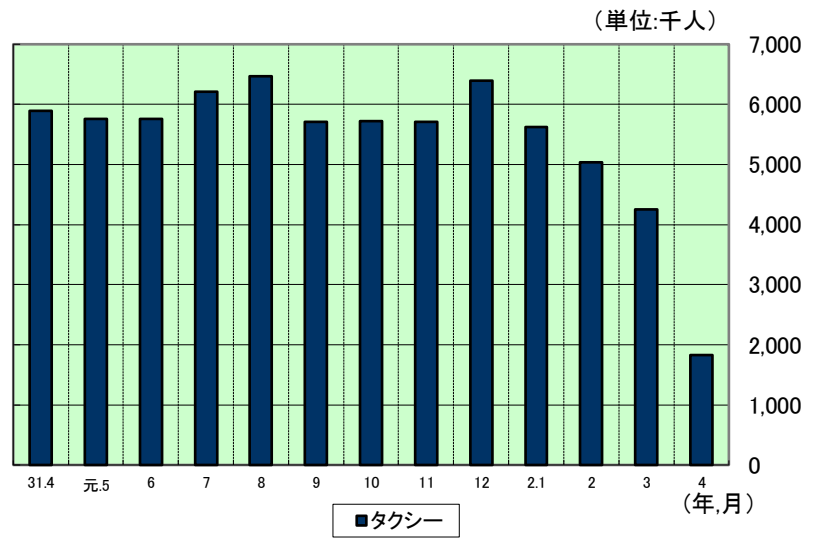
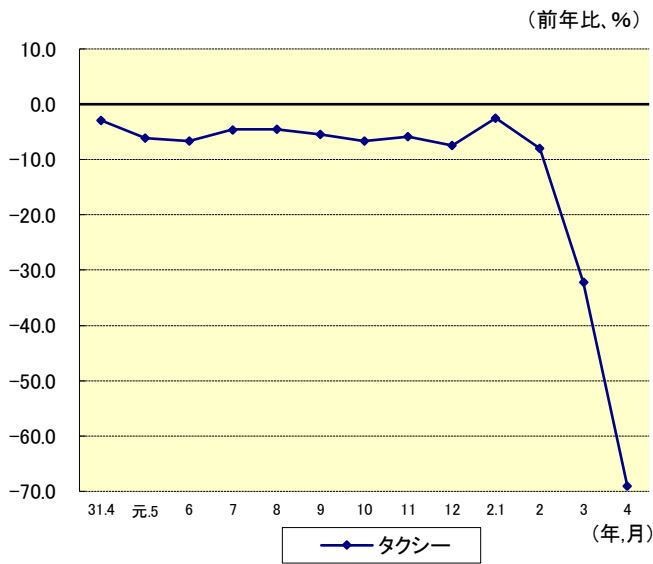


### バス《輸送人員》

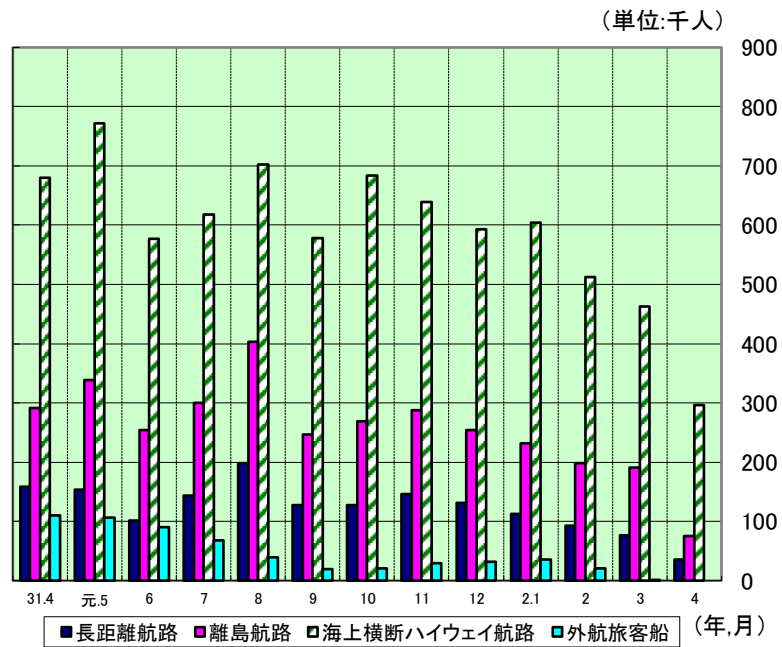
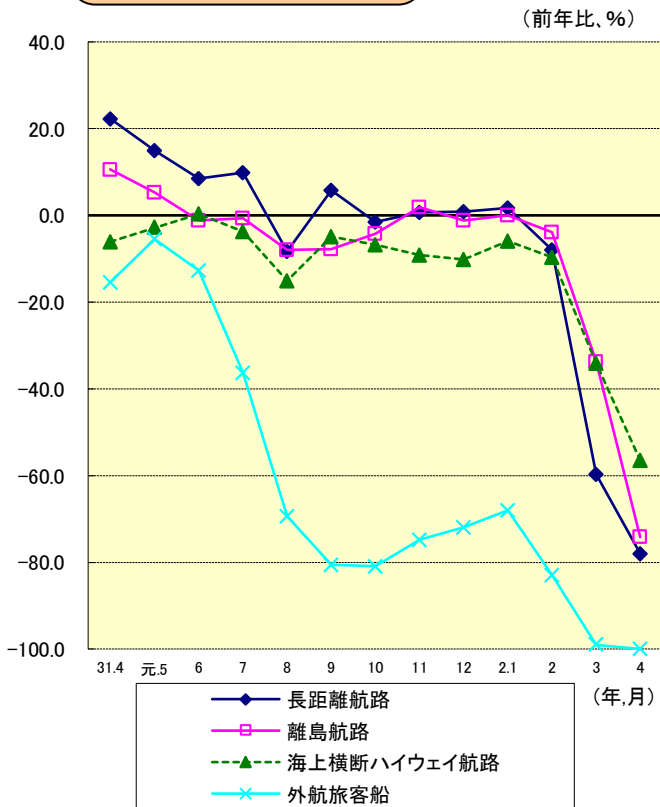


九州運輸局 交通政策部 消費者行政・情報課  
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-11-1  
Tel.092-472-2333 <http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/>

### タクシー《輸送人員》

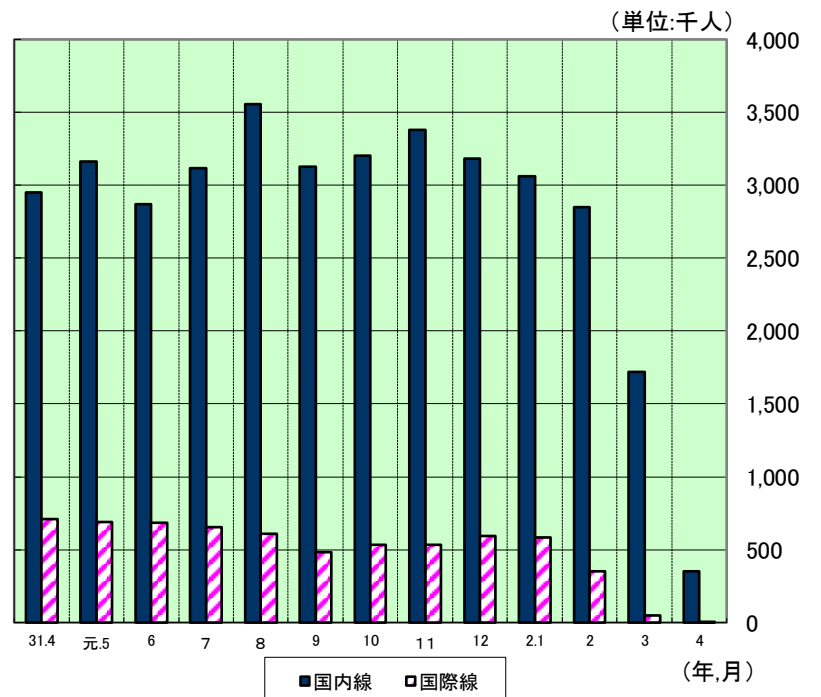
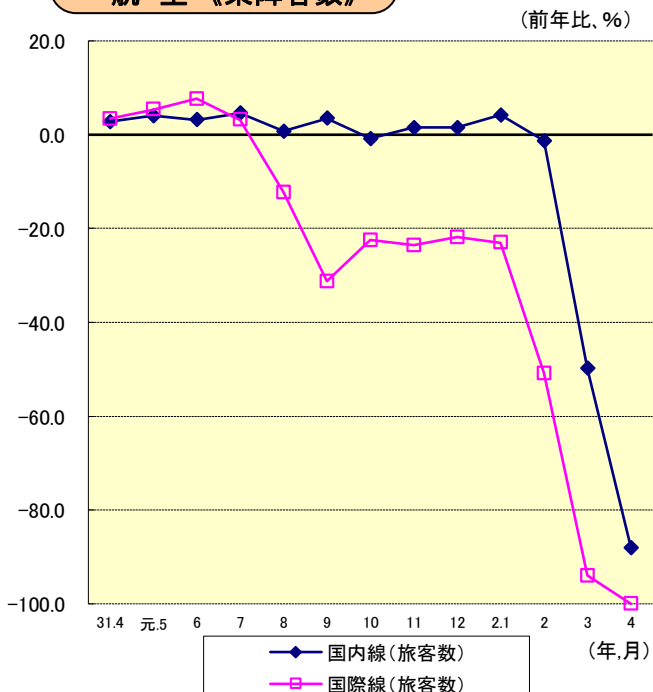


### 旅客船《輸送人員》



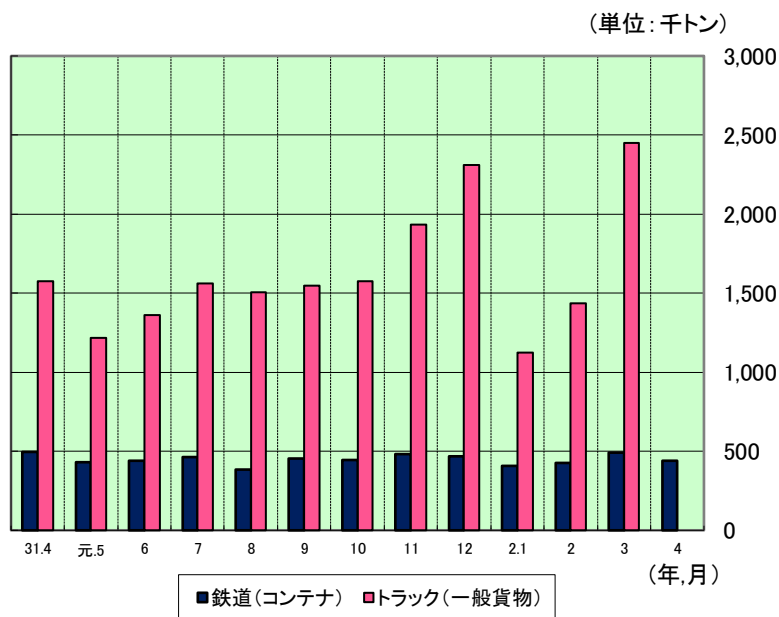
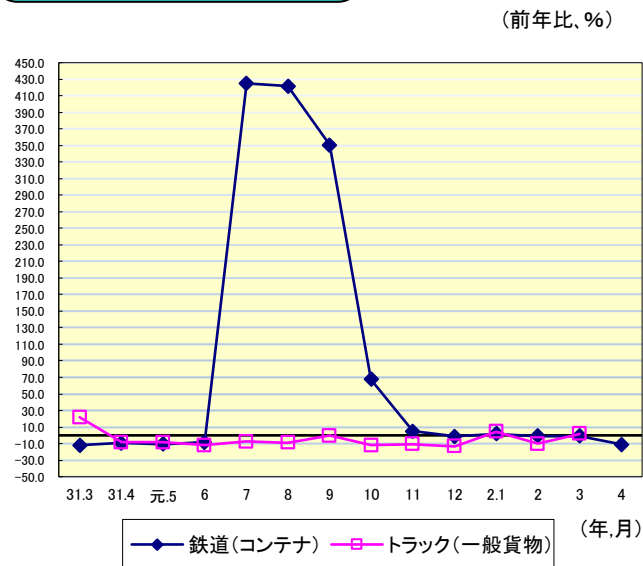
注1) 海上横断ハイウェイ航路(海道ハイウェイ航路改め)とは、有明海、鹿児島湾などの湾内等を横断する航路をいう。

### 航空《乗降客数》

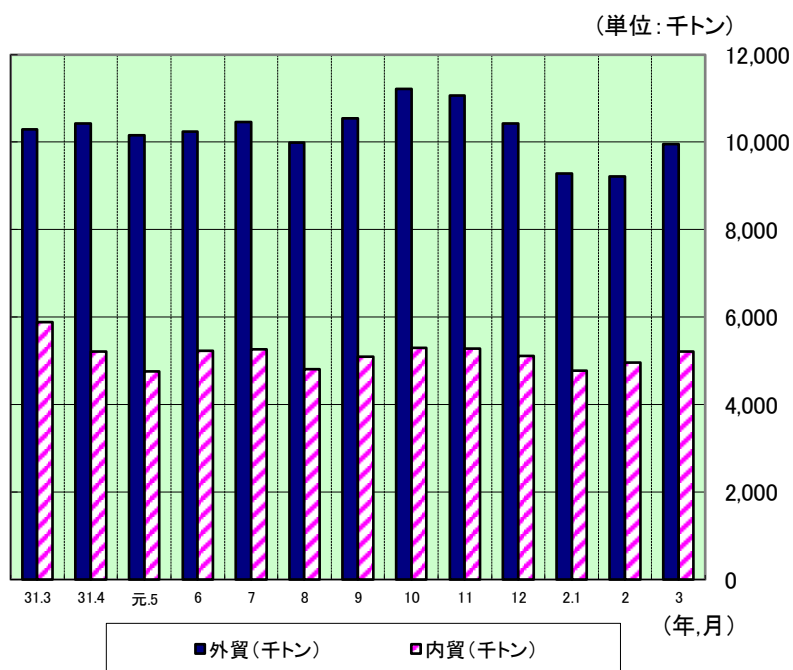
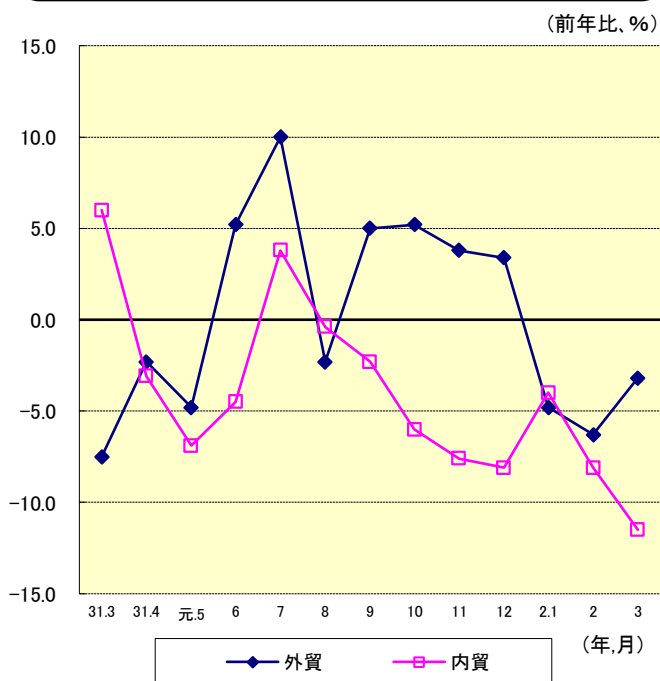


# 物流

## 鉄道・トラック《輸送量》



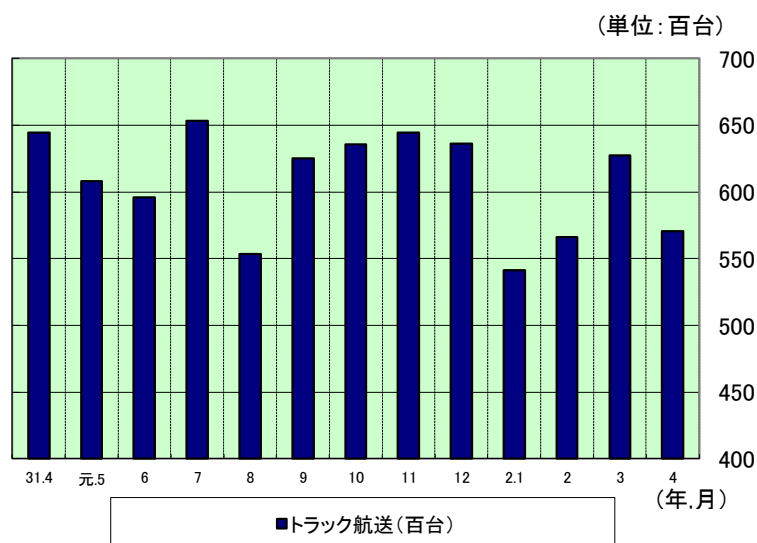
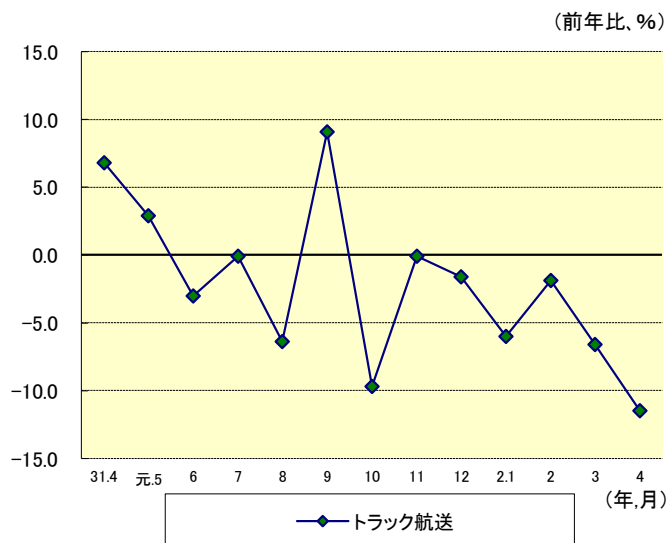
## 海上貨物《船舶積卸し実績(九州の23指定港)》



指定港湾・・・港湾運送事業法の適用対象となる港湾。九州では23港湾。

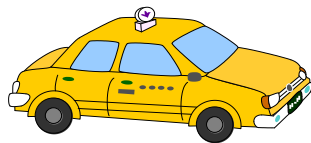
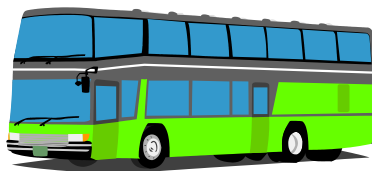
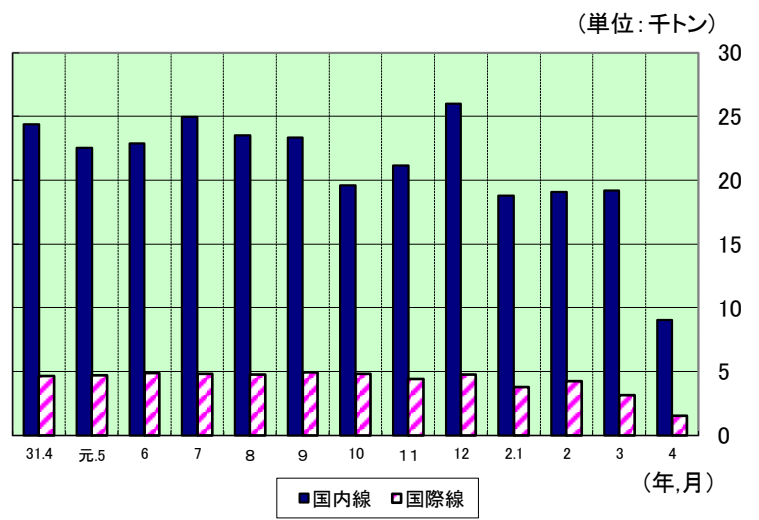
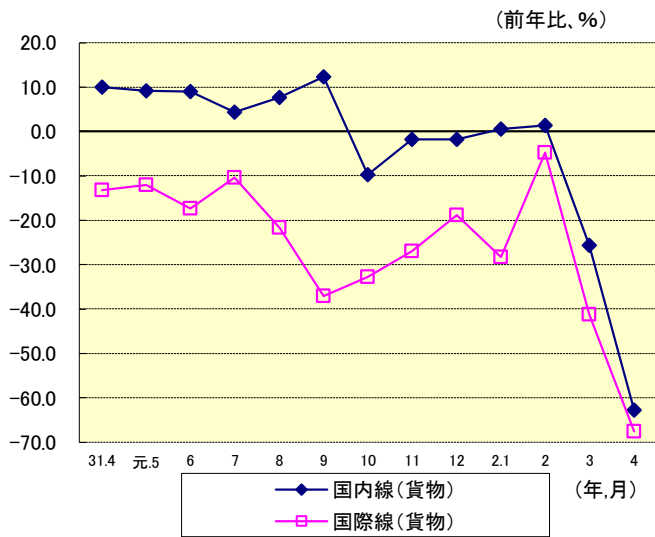
関門・博多・三池・水俣・鹿児島・宇部・小野田・苅田・大牟田・唐津・伊万里・臼浦・相浦・佐世保・長崎・三角・八代・大分・津久見・佐伯・細島・油津・名瀬

## 長距離フェリー《航送台数》



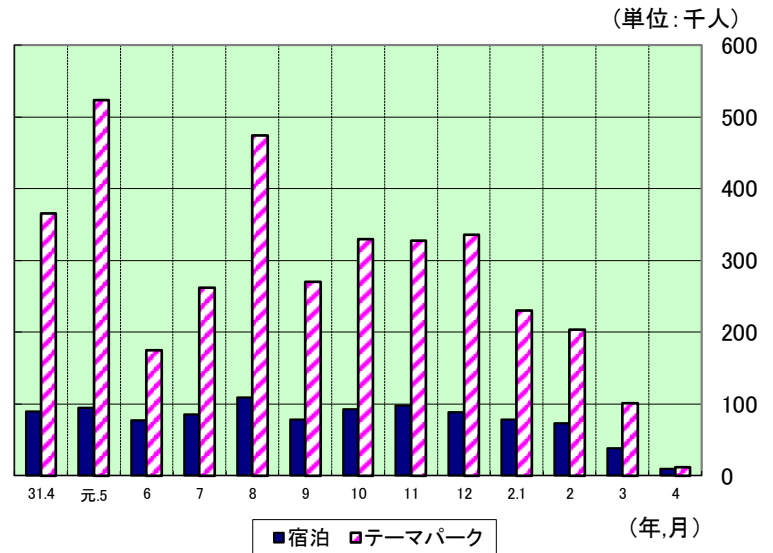
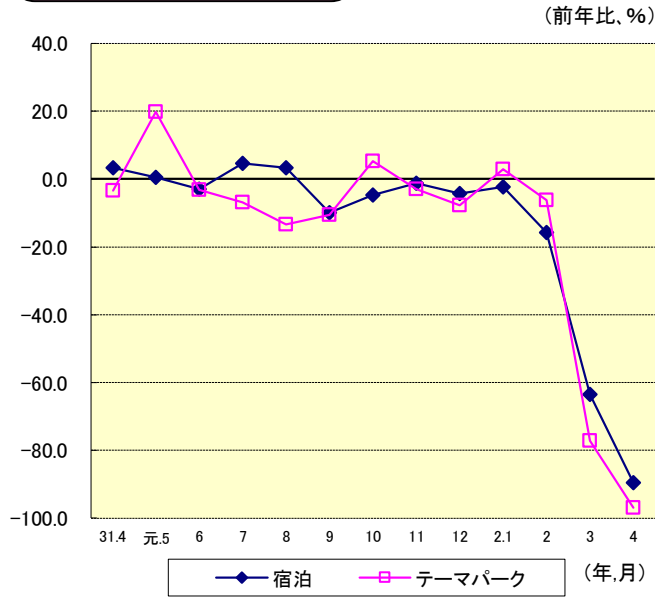
※貨物フェリーを除く

# 航空貨物《輸送量》

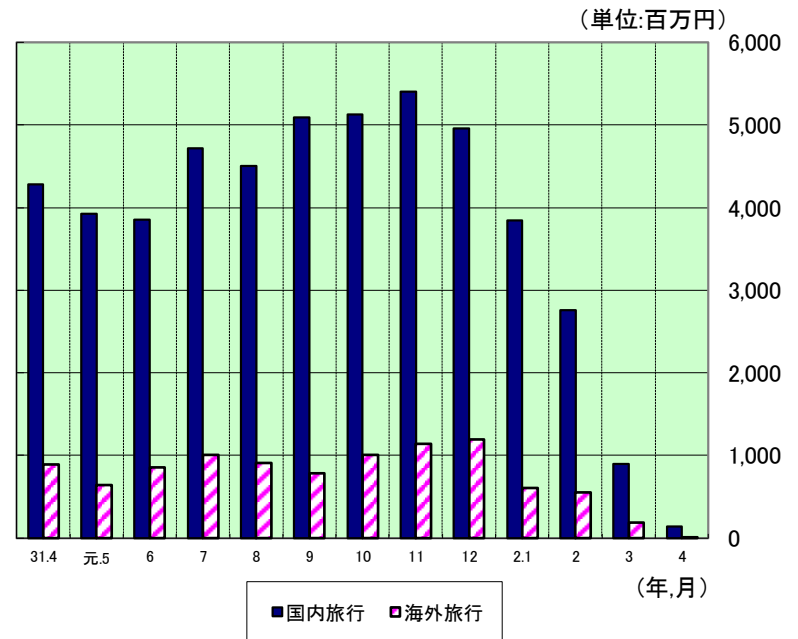
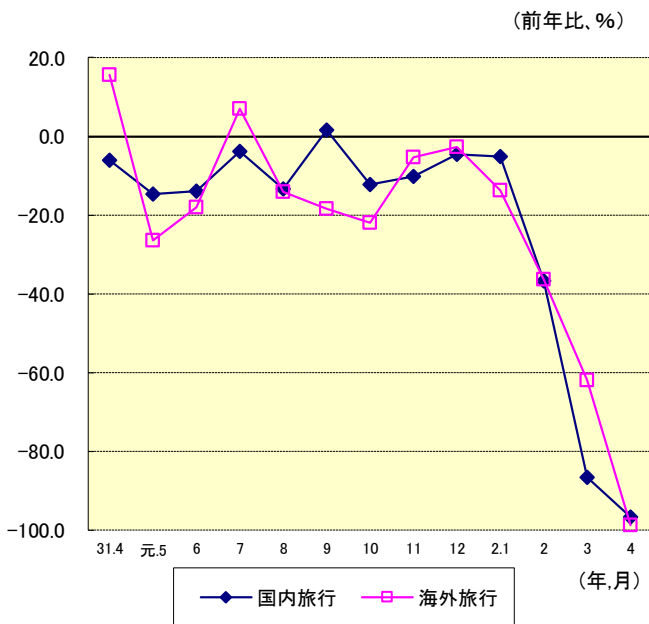


## 観光

### 観光《宿泊・入場者数》

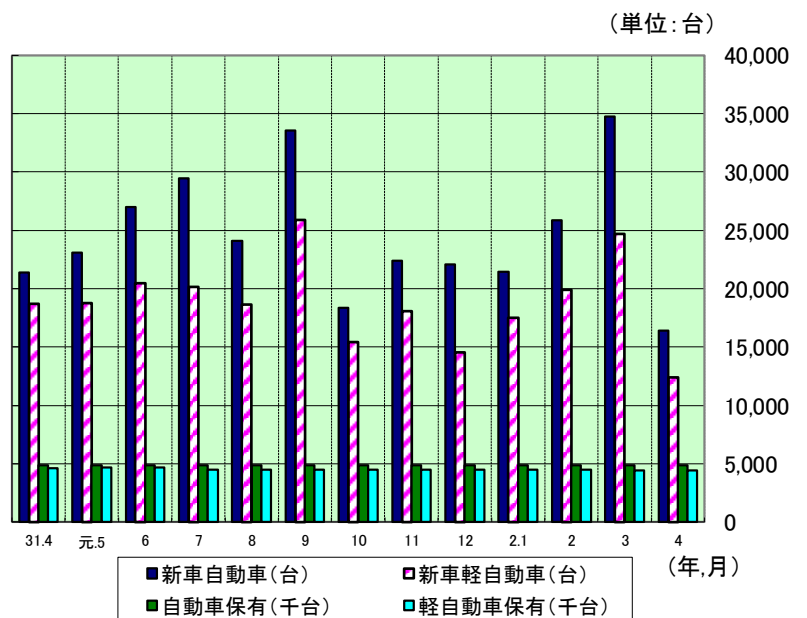
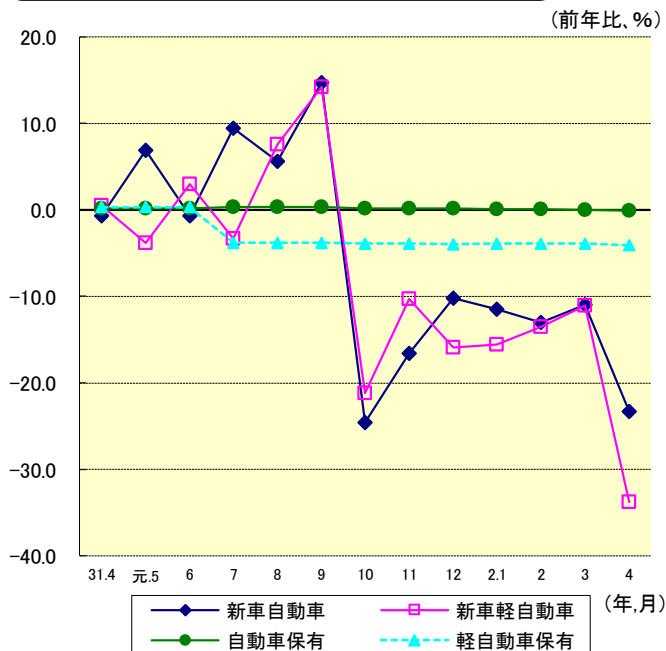


### 旅行業《取扱額》



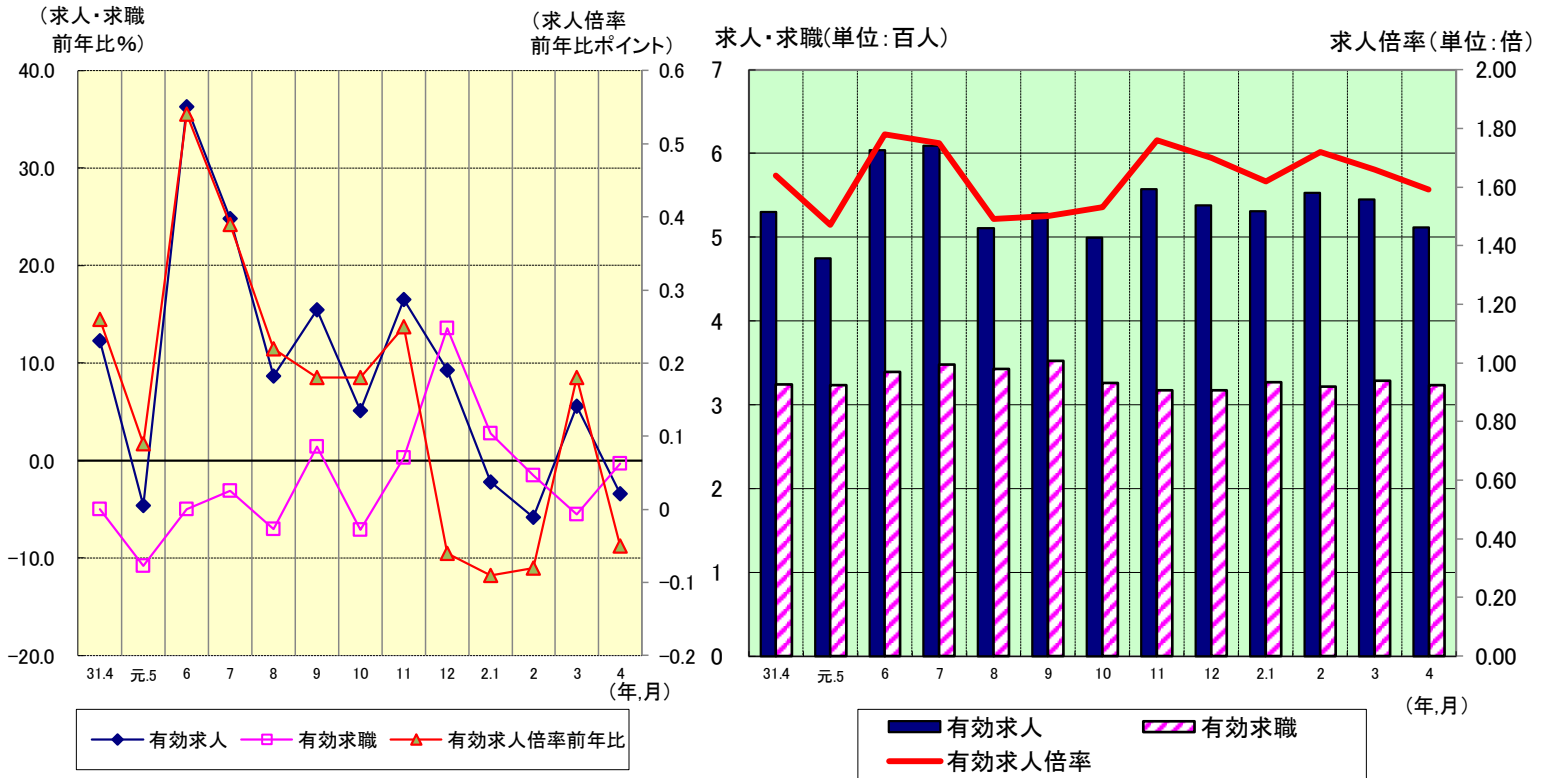
## 自動車登録

### 新車・保有《登録・届出台数・保有台数》



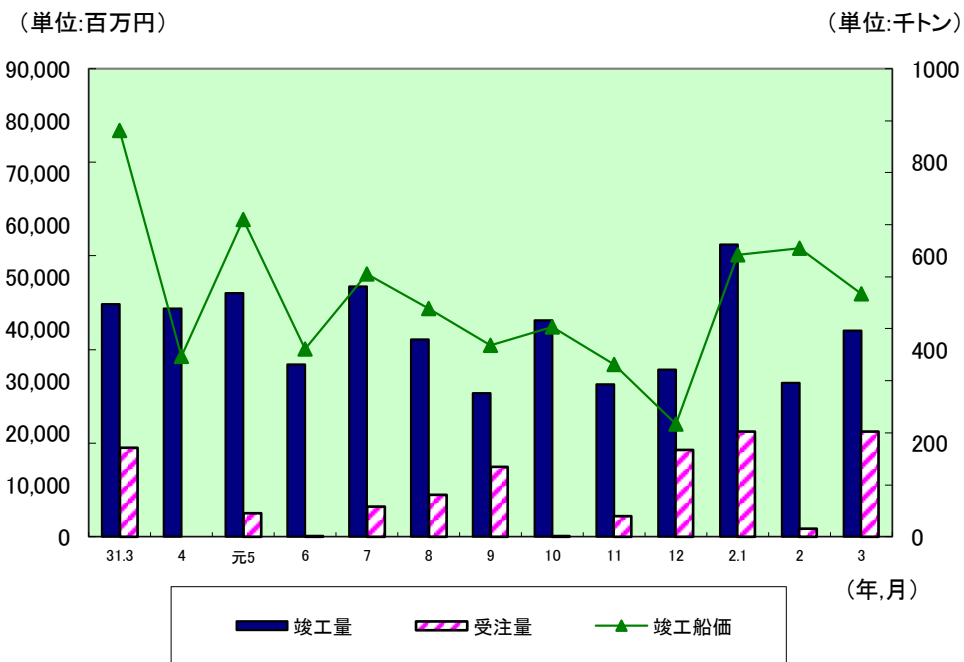
## 船員雇用情勢

### 船員《有効求人・有効求職数》



## 造船

### 造船《竣工量・受注量・竣工船価》



## I 旅客

※数値はサンプル調査も含む。(サンプル調査には項目に☆を付記)  
 詳細は統計データ備考欄を参照。前年同月比は増減比を表し、  
 10%以上プラス、マイナスは数値を**赤太字**で表記

鉄 道	輸送人員(千人)			前年同月比 (%)	特記事項
	2年4月	前年同月	先月		
JR九州(全線)	15,292	28,919	20,634	<b>△ 47.1</b>	新型コロナウイルスの影響による減。
JR九州(新幹線)	309	1,235	663	<b>△ 75.0</b>	
JR西日本(新幹線)	310	1,750	981	<b>△ 82.3</b>	
☆ 民間鉄道	12,078	24,761	19,438	<b>△ 51.2</b>	
路面電車	1,494	3,290	2,372	<b>△ 54.6</b>	

バ ス	輸送人員(千人)			前年同月比 (%)	特記事項
	2年4月	前年同月	先月		
☆ 乗合バス	15,366	32,505	25,378	<b>△ 52.7</b>	新型コロナウイルスの影響による減。
☆ 貸切バス	82	309	184	<b>△ 73.5</b>	1年1ヶ月連続マイナス。 新型コロナウイルスの影響による減。
☆ 高速バス	141	740	462	<b>△ 80.9</b>	9ヶ月連続マイナス。 新型コロナウイルスの影響による減。

タクシー	輸送人員(千人)			前年同月比 (%)	特記事項
	2年4月	前年同月	先月		
福岡県内	1,829	5,892	4,249	<b>△ 69.0</b>	4年7ヶ月連続マイナス。 新型コロナウイルスの影響による減。

旅客船	輸送人員(千人)			前年同月比 (%)	特記事項
	2年4月	前年同月	先月		
長距離航路	35	159	77	<b>△ 78.0</b>	新型コロナウイルスの影響による減。
☆ 離島航路	75	291	191	<b>△ 74.2</b>	新型コロナウイルスの影響による減。
海上横断ハイウェイ航路	296	680	463	<b>△ 56.5</b>	10ヶ月連続マイナス。 新型コロナウイルスの影響による減。
外航旅客船	0	110	1	<b>△ 100.0</b>	1年1ヶ月連続マイナス。 新型コロナウイルスの影響による減。 全航路で旅客輸送を停止。

航空	輸送人員(千人)			前年同月比 (%)	特記事項
	2年4月	前年同月	先月		
国内線	353	2,949	1,718	<b>△ 88.0</b>	新型コロナウイルスの影響による減。
国際線	0	709	49	<b>△ 100.0</b>	9ヶ月連続マイナス。 新型コロナウイルスの影響による減。

## Ⅱ 物流

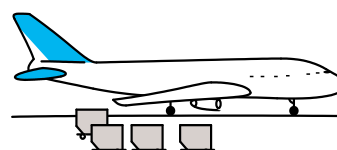
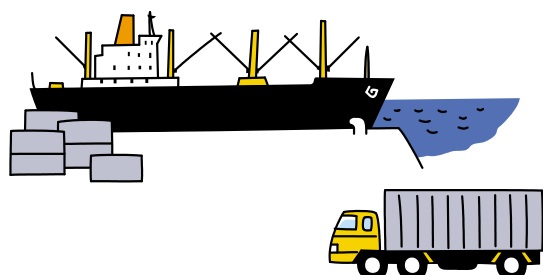
鉄道	輸送トン数(千トン)			前年同月比 (%)	特記事項
	2年4月	前年同月	先月		
車扱い	4.01	0.94	3.32	326.6	対前年度同月の車扱い輸送トン数が一時的に減少したことによる反動増。
コンテナ	440	495	492	△ 11.1	

トラック	輸送トン数(千トン)			前年同月比 (%)	特記事項
	2年4月	前年同月	先月		
☆ 特別積合せ	172	185	180	△ 7.1	
☆ 一般貨物	2,451	2,411	1,435	1.7	

海上貨物 (港湾運送)	船舶積卸し実績(千トン)			前年同月比 (%)	特記事項
	2年3月	前年同月	先月		
☆ 外 貿	9,960	10,289	9,212	△ 3.2	
☆ 内 貿	5,212	5,887	4,960	△ 11.5	8ヶ月連続マイナス。

長距離フェリー	航送台数			前年同月比 (%)	特記事項
	2年4月	前年同月	先月		
トラック航送 (貨物フェリーを除く)	57,066	64,458	62,743	△ 11.5	7ヶ月連続マイナス。

航空貨物	取扱トン数			前年同月比 (%)	特記事項
	2年4月	前年同月	先月		
国内線	9,072	24,403	19,187	△ 62.8	新型コロナウイルスの影響による減。
国際線	1,516	4,678	3,142	△ 67.6	1年3ヶ月連続マイナス。 新型コロナウイルスの影響による減。





### Ⅲ 観 光

観光	宿泊・入場者数(千人)			前年同月比 (%)	特記事項
	2年4月	前年同月	先月		
☆ 宿泊	9	89	39	△ 89.4	8ヶ月連続マイナス。 新型コロナウイルスの影響による減。
☆ テーマパーク	11	365	101	△ 96.9	新型コロナウイルスの影響による減。

旅行業	取扱額(百万円)			前年同月比 (%)	特記事項
	2年4月	前年同月	先月		
☆ 国内旅行	142	4,280	900	△ 96.7	7ヶ月連続マイナス。 新型コロナウイルスの影響による減。
☆ 海外旅行	11	889	186	△ 98.7	9ヶ月連続マイナス。 新型コロナウイルスの影響による減。

### Ⅳ 自動車登録・保有

新車・保有	登録・届出台数(台)、保有台数(千台)			前年同月比 (%)	特記事項
	2年4月	前年同月	先月		
(自動車)新車登録(台)	16,419	21,410	34,729	△ 23.3	7ヶ月連続マイナス。 新型コロナウイルスの影響による減。
(軽自動車)新車届出(台)	12,374	18,687	24,700	△ 33.8	7ヶ月連続マイナス。 新型コロナウイルスの影響による減。
自動車保有(千台)	4,851	4,854	4,853	△ 0.1	
軽自動車保有(千台)	4,455	4,645	4,443	△ 4.1	令和元年7月からの軽二輪の届出事 務電算化に伴い現在精査中であるた め、軽二輪を除いた値を計上。

### Ⅴ 船員雇用情勢

船員雇用	有効求人・有効求職者数(人)			前年同月比 (%)	特記事項
	2年4月	前年同月	先月		
有効求人数	512	530	545	△ 3.4	有効求人倍率1.59倍。 (前年同月比 0.05ポイント減。全国 では、2倍超で推移している。)
有効求職者数	323	324	329	△ 0.3	

### Ⅵ 造船

造船	竣工量・受注量(トン数)・竣工船価(百万円)			前年同月比 (%)	特記事項
	2年3月	前年同月	先月		
☆ 竣工量	441,306	497,629	329,433	△ 11.3	
☆ 受注量	223,750	190,849	17,900	17.2	
☆ 竣工船価	46,679	78,113	55,475	△ 40.2	



### 3 タクシー

年 月	タクシー		
	輸送人員 (千人)	前年同期比 (%)	実車率 (%)
30年計	75,237	△ 3.2	40.6
31年計	71,124	△ 5.5	41.5
31年4月	5,892	△ 2.9	40.9
元年5月	5,762	△ 6.1	40.2
6月	5,754	△ 6.6	41.0
7月	6,206	△ 4.6	42.3
8月	6,469	△ 4.5	42.8
9月	5,714	△ 5.4	41.5
10月	5,722	△ 6.6	41.2
11月	5,706	△ 5.8	41.7
12月	6,390	△ 7.5	43.7
2年1月	5,620	△ 2.5	41.4
2月	5,037	△ 8.0	40.0
3月	4,249	△ 32.2	35.7
4月	1,829	△ 69.0	27.0
備考	福岡県内事業者の合計値		
担当部課	自動車交通部旅客第二課		

### 4 旅 客 船 輸 送

年 月	国内フェリー						外航旅客船			
	長距離航路		離島航路		海上横断ハイウェイ航路		輸送人員 (人)			前年同期比 (%)
	輸送人員 (千人)	前年同期比 (%)	輸送人員 (千人)	前年同期比 (%)	輸送人員 (千人)	前年同期比 (%)	日本人	外国人	合計	
30年計	1,611	△ 2.2	3,363	△ 1.1	8,099	0.9	130,238	1,238,457	1,368,695	2.7
31年計	1,696	5.3	3,370	0.2	7,757	△ 4.2	125,033	735,779	860,812	△ 37.1
31年4月	159	22.3	291	10.6	680	0.9	12,985	96,793	109,778	△ 15.4
元年5月	153	15.0	338	5.3	772	2.9	11,689	94,506	106,195	△ 5.5
6月	102	8.5	254	△ 1.2	577	0.3	8,770	81,331	90,101	△ 12.7
7月	144	9.9	300	△ 0.7	618	△ 3.7	8,731	58,773	67,504	△ 36.3
8月	198	△ 8.3	403	△ 8.0	703	△ 15.1	11,910	27,647	39,557	△ 69.4
9月	128	5.8	247	△ 7.8	578	△ 4.9	6,499	13,389	19,888	△ 80.6
10月	128	△ 1.5	269	△ 4.3	684	△ 6.8	7,676	13,512	21,188	△ 80.9
11月	146	0.7	288	1.8	639	△ 9.2	10,281	19,443	29,724	△ 74.8
12月	131	0.8	254	△ 1.2	593	△ 10.2	11,198	20,889	32,087	△ 72.0
2年1月	113	△ 1.7	232	0.0	604	△ 5.9	8,670	27,239	35,909	△ 68.0
2月	93	△ 7.9	198	△ 3.9	513	△ 9.7	5,599	15,115	20,714	△ 83.0
3月	77	△ 59.7	191	△ 33.7	463	△ 34.1	225	936	1,161	△ 99.0
4月	35	△ 78.0	75	△ 74.2	296	△ 56.5	0	0	0	△ 100.0
備考	管内Bにおける関東・関西 方面 長距離事業者5社8航 路の合計値		管内B主要12社16航路の 合計値		管内B6社6航路の 合計値		管内B8事業者10航路の合計値			
担当部課	海事振興部旅客課									

注1) 海上横断ハイウェイ航路(海道ハイウェイ航路改め)とは、有明海、鹿児島湾などの湾内等を横断する航路をいう。

注2) 外航旅客船とは、日韓旅客定期航路をいう。

## 5 航 空 輸 送

年 月	航 空			
	国 内 路 線		国 際 路 線	
	乗降客数 (千人)	前年同期比 (%)	乗降客数 (千人)	前年同期比 (%)
30年計	36,829	2.0	8,246	13.5
31年計	37,791	2.6	7,775	△ 5.7
31年4月	2,949	2.8	709	3.4
元年5月	3,162	4.0	688	5.4
6月	2,868	3.2	686	7.7
7月	3,118	4.6	653	3.2
8月	3,554	0.7	609	△ 12.2
9月	3,126	3.5	482	△ 31.2
10月	3,204	△ 0.8	533	△ 22.4
11月	3,381	1.5	534	△ 23.6
12月	3,181	1.6	592	△ 21.8
2年1月	3,060	4.2	585	△ 23.0
2月	2,850	△ 1.3	354	△ 50.8
3月	1,718	△ 49.8	49	△ 94.0
4月	353	△ 88.0	0	△ 100.0
備考	九州主要 8空港の合計値		九州主要 8空港の合計値	
担当部課	大 阪 航 空 局			

(注) 九州主要8空港は、福岡、北九州、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島空港である。

## II 物 流

### 1 鉄 道 輸 送

年 月	鉄 道					
	車 扱 い		コ ン テ ナ		合 計	
	輸送トン数 (千トン)	前年同期比 (%)	輸送トン数 (千トン)	前年同期比 (%)	輸送トン数 (千トン)	前年同期比 (%)
30年計	25.07	△ 27.4	4,468	△ 24.6	4,493	△ 24.6
31年計	30.09	20.0	5,410	21.1	5,440	21.1
31年4月	0.94	△ 73.9	495	△ 9.3	496	△ 9.8
元年5月	4.01	12.3	430	△ 10.4	434	△ 10.2
6月	3.72	△ 3.1	438	△ 8.6	442	△ 8.5
7月	3.66	192.8	462	425.0	466	421.7
8月	3.23	361.4	386	421.6	389	421.1
9月	3.38	2,314.3	455	350.5	458	353.2
10月	2.09	83.3	444	67.5	446	67.6
11月	1.27	△ 23.0	482	5.0	483	4.9
12月	0.43	△ 82.5	469	△ 1.1	469	△ 1.5
2年1月	0.76	△ 68.6	409	1.7	410	1.3
2月	1.20	△ 70.5	425	△ 0.9	426	△ 1.6
3月	3.32	281.6	492	△ 5.0	495	△ 4.6
4月	4.01	326.6	440	△ 11.1	444	△ 10.5
備考						
担当部課	鉄 道 部 計 画 課					

## 2 貨物自動車輸送

年月	貨物自動車			
	特別積合せ		一般貨物	
	輸送トン数 (千トン)	前年同期比 (%)	輸送トン数 (千トン)	前年同期比 (%)
30年計	2,100	2.8	20,643	9.2
31年計	2,048	△ 2.5	19,662	△ 4.8
31年3月	182	△ 2.8	2,411	21.9
4月	185	1.0	1,575	△ 8.3
元年5月	157	△ 5.5	1,215	△ 8.2
6月	162	△ 6.9	1,361	△ 12.0
7月	184	△ 0.5	1,561	△ 7.5
8月	155	△ 6.1	1,507	△ 8.7
9月	174	6.9	1,547	△ 0.5
10月	177	△ 6.9	1,574	△ 12.0
11月	172	△ 8.0	1,935	△ 10.5
12月	180	△ 2.6	2,309	△ 13.4
2年1月	151	△ 2.6	1,123	4.7
2月	161	△ 1.8	1,435	△ 10.0
3月	180	△ 1.2	2,451	1.7
4月	172	△ 7.1		
備考	管内A主要 2社の合計値		管内A主要 176社の合計値	
担当部課	自動車交通部貨物課			

## 3 海上貨物 (1) 港湾運送

年月	船舶積卸し実績					
	外貿船舶取扱量		内貿船舶取扱量		合計	
	23指定港の合計量		23指定港の合計量			
	取扱量 (千トン)	前年同期比 (%)	取扱量 (千トン)	前年同期比 (%)	取扱量 (千トン)	前年同期比 (%)
30年計	121,983	△ 2.0	63,633	△ 0.0	185,616	△ 1.4
31年計	124,416	2.0	62,322	△ 2.1	186,738	0.6
31年3月	10,289	△ 7.5	5,887	6.0	16,176	△ 3.0
4月	10,428	△ 1.5	5,205	△ 3.1	15,633	△ 2.0
元年5月	10,160	△ 4.8	4,757	△ 6.9	14,917	△ 5.5
6月	10,241	5.2	5,234	△ 4.5	15,475	1.7
7月	10,455	10.0	5,268	3.8	15,723	7.8
8月	9,992	△ 2.3	4,806	△ 0.4	14,798	△ 1.6
9月	10,547	5.0	5,100	△ 2.6	15,647	2.4
10月	11,225	5.2	5,297	△ 6.0	16,522	1.3
11月	11,064	3.8	5,277	△ 7.6	16,341	△ 0.2
12月	10,435	3.4	5,117	△ 8.1	15,552	△ 0.7
2年1月	9,285	△ 4.8	4,782	△ 4.0	14,067	△ 4.5
2月	9,212	△ 6.3	4,960	△ 8.1	14,172	△ 6.9
3月	9,960	△ 3.2	5,212	△ 11.5	15,172	△ 6.2
備考						
担当部課	海事振興部港運課					

指定港湾・・・港湾運送事業法の適用対象となる港湾。九州では23港湾。

関門・博多・三池・水俣・鹿児島・宇部・小野田・苅田・大牟田・唐津・伊万里・臼浦・相浦・佐世保・長崎・三角・八代・大分・津久見・佐伯・細島・油津・名瀬

## (2) コンテナ荷役

年月	船舶積卸し実績					
	外貨コンテナ		内貨コンテナ		合計	
	23指定港の合計量		23指定港の合計量			
	取扱量 (千トン)	前年同期比 (%)	取扱量 (千トン)	前年同期比 (%)	取扱量 (千トン)	前年同期比 (%)
30年計	50,031	5.3	7,804	6.8	57,835	5.5
31年計	51,505	2.9	6,964	△ 10.8	58,469	1.1
31年3月	4,354	△ 1.9	630	△ 10.4	4,984	△ 3.1
4月	4,323	0.6	626	△ 8.1	4,949	△ 0.6
元年5月	4,175	△ 5.5	517	△ 21.9	4,692	△ 7.6
6月	4,429	4.7	612	△ 18.6	5,041	1.2
7月	4,592	13.8	578	△ 11.9	5,170	10.2
8月	4,076	7.9	611	△ 4.2	4,687	6.2
9月	4,299	7.4	555	△ 12.9	4,854	4.6
10月	4,517	1.5	565	△ 16.3	5,082	△ 0.9
11月	4,469	△ 0.2	580	△ 4.3	5,049	△ 0.6
12月	4,468	6.6	546	△ 16.0	5,014	3.6
2年1月	3,933	△ 2.9	478	△ 17.0	4,411	△ 4.7
2月	3,379	△ 9.9	561	△ 1.2	3,940	△ 8.8
3月	4,281	△ 1.7	607	△ 3.7	4,888	△ 1.9
備考						
担当部課	海事振興部港運課					

指定港湾・・・港湾運送事業法の適用対象となる港湾。九州では23港湾。

関門・博多・三池・水俣・鹿児島・宇部・小野田・苅田・大牟田・唐津・伊万里・臼浦・相浦・佐世保・長崎・三角・八代・大分・津久見・佐伯・細島・油津・名瀬

## (3)トラック航送台数

年月	国内フェリー	
	長距離フェリー	
	トラック航送台数 (台)	前年同期比 (%)
30年計	736,685	△ 0.6
31年計	742,270	0.8
31年4月	64,458	6.8
元年5月	60,829	2.9
6月	59,618	△ 3.0
7月	65,343	△ 0.1
8月	55,361	△ 6.4
9月	62,524	9.1
10月	63,550	△ 9.7
11月	64,467	△ 0.1
12月	63,612	△ 1.6
2年1月	54,152	△ 6.0
2月	56,592	△ 1.9
3月	62,743	△ 6.6
4月	57,066	△ 11.5
備考	管内Bにおける関東・関西方面長距離事業者5社8航路の合計値	
担当部課	海事振興部旅客課	

(注)貨物フェリーを除く。

## 4 航 空 輸 送

年 月	航 空			
	国内線(発着貨物)		国際線(発着貨物)	
	取扱トン数 (トン)	前年同期比 (%)	取扱トン数 (トン)	前年同期比 (%)
30年計	264,286	△ 4.4	71,108	3.3
31年計	271,769	2.8	57,904	△ 18.6
31年4月	24,403	10.0	4,678	△ 13.2
元年5月	22,552	9.1	4,699	△ 12.1
6月	22,898	9.0	4,908	△ 17.3
7月	24,965	4.3	4,851	△ 10.4
8月	23,523	7.7	4,753	△ 21.6
9月	23,318	12.3	4,922	△ 37.0
10月	19,609	△ 9.7	4,815	△ 32.7
11月	21,179	△ 1.7	4,445	△ 27.0
12月	26,003	△ 1.8	4,743	△ 18.8
2年1月	18,787	0.6	3,778	△ 28.3
2月	19,086	1.4	4,266	△ 4.8
3月	19,187	△ 25.7	3,142	△ 41.2
4月	9,072	△ 62.8	1,516	△ 67.6
備考	九州主要 8空港の合計値		九州主要 8空港の合計値	
担当部課	大阪航空局			

(注1) 九州主要8空港は、福岡、北九州、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島空港である。

## Ⅲ 観 光 ・ そ の 他

### 1 観 光

#### (1) ホ テ ル ・ 旅 館 宿 泊

年 月	ホ テ ル ・ 旅 館			
	宿泊者数 (千人)	前年同期比 (%)	ホテル	旅館
			客室稼働率 (%)	定員稼働率 (%)
30年計	1,099	0.9	75.9	32.9
31年計	1,087	△ 1.1	75.8	32.7
31年4月	89	3.4	76.8	31.7
元年5月	94	0.5	77.3	35.5
6月	77	△ 2.9	71.7	27.7
7月	86	4.7	74.0	28.8
8月	109	3.4	78.2	41.2
9月	78	△ 9.9	71.9	27.3
10月	93	△ 4.7	76.1	34.1
11月	98	△ 1.2	80.1	39.3
12月	88	△ 4.3	72.4	29.3
2年1月	78	△ 2.4	65.8	25.0
2月	74	△ 15.8	71.1	24.5
3月	39	△ 63.5	38.0	13.1
4月	9	△ 89.4	11.2	1.8
備考	管内A主要 16社の合計値			
担当部課	観光部観光企画課			

#### (2) テーマパーク入場者

年 月	テーマパーク入場者	
	入場者数 (千人)	前年同期比 (%)
30年計	4,057	△ 1.0
31年計	3,949	△ 2.7
31年4月	365	△ 3.4
元年5月	523	19.9
6月	175	△ 3.1
7月	262	△ 6.9
8月	474	△ 13.3
9月	270	△ 10.6
10月	330	5.2
11月	328	△ 3.0
12月	336	△ 7.8
2年1月	231	3.0
2月	203	△ 6.3
3月	101	△ 77.2
4月	11	△ 96.9
備考	管内A主要 3施設の合計値	
担当部課	観光部観光企画課	

### (3) 旅行業

年 月	旅 行 業					
	国内旅行		海外旅行		合 計	
	取 扱 額 (百万円)	前年同期比 (%)	取 扱 額 (百万円)	前年同期比 (%)	取 扱 額 (百万円)	前年同期比 (%)
30年計	62,008	△ 13.9	12,199	0.6	74,207	△ 11.8
31年計	55,252	△ 10.9	11,127	△ 8.8	66,379	△ 10.5
31年4月	4,280	△ 6.1	889	15.6	5,169	△ 2.9
元年5月	3,926	△ 14.7	646	△ 26.4	4,572	△ 16.6
6月	3,852	△ 13.9	851	△ 18.1	4,703	△ 14.7
7月	4,715	△ 3.8	1,007	7.0	5,722	△ 2.0
8月	4,501	△ 13.3	909	△ 14.1	5,410	△ 13.4
9月	5,094	1.6	787	△ 18.4	5,881	△ 1.6
10月	5,128	△ 12.2	1,009	△ 22.0	6,137	△ 14.0
11月	5,402	△ 10.2	1,143	△ 5.4	6,544	△ 9.4
12月	4,955	△ 4.6	1,197	△ 2.7	6,152	△ 4.3
2年1月	3,844	△ 5.1	606	△ 13.8	4,450	△ 6.4
2月	2,760	△ 36.8	553	△ 36.4	3,313	△ 36.7
3月	900	△ 81.9	186	△ 83.3	1,086	△ 82.2
4月	142	△ 96.7	11	△ 98.7	153	△ 97.0
備 考	管内 A 主要 4 社の合計値					
担当部課	観光部 観光企画課					

## IV 自動車登録

### 1 自動車登録・保有

年 月	自 動 車 登 録				自 動 車 保 有			
	自動車・新車		軽自動車・新車		自 動 車		軽 自 動 車	
	登録台数 (台)	前年同期比 (%)	届出台数 (台)	前年同期比 (%)	保有車両数 (千台)	前年同期比 (%)	保有車両数 (千台)	前年同期比 (%)
30年計	320,202	△ 0.5	247,440	4.6	4,857	0.4	4,658	0.5
31年計	314,502	△ 1.8	242,237	△ 2.1	4,868	0.2	4,574	△ 1.8
31年4月	21,410	△ 0.7	18,687	0.5	4,854	0.2	4,645	0.3
元年5月	23,115	6.9	18,754	△ 3.8	4,854	0.2	4,654	0.3
6月	27,025	△ 0.7	20,454	3.0	4,862	0.2	4,663	0.3
7月	29,458	9.4	20,183	△ 3.3	4,868	0.3	4,479	△ 3.8
8月	24,102	5.6	18,637	7.6	4,873	0.3	4,485	△ 3.8
9月	33,546	14.7	25,918	14.2	4,882	0.3	4,496	△ 3.8
10月	18,338	△ 24.6	15,448	△ 21.2	4,874	0.2	4,493	△ 3.9
11月	22,392	△ 16.6	18,054	△ 10.3	4,876	0.2	4,496	△ 3.9
12月	22,110	△ 10.2	14,543	△ 15.9	4,878	0.2	4,495	△ 4.0
2年1月	21,451	△ 11.5	17,514	△ 15.6	4,873	0.1	4,496	△ 3.9
2月	25,887	△ 13.0	19,923	△ 13.5	4,875	0.1	4,493	△ 3.9
3月	34,729	△ 11.0	24,700	△ 11.1	4,853	0.0	4,443	△ 3.9
4月	16,419	△ 23.3	12,374	△ 33.8	4,851	△ 0.1	4,455	△ 4.1
備考	管内 A の合計値							
担当部課	自動車技術安全部 管理課							



## V 船員雇用情勢

### 1 求人・求職者数

年 月	船 員 雇 用 情 勢					
	求 人		求 職		有効求人倍率 (A/B) (倍)	前年同期比 (ポイント)
	有効求人数(A) (人)	前年同期比 (%)	有効求職数(B) (人)	前年同期比 (%)		
30年計	476	5.0	350	△ 5.0	1.37	0.13
31年計	541	13.8	332	△ 5.2	1.63	0.27
31年4月	530	12.3	324	△ 5.0	1.64	0.26
元年5月	475	△ 4.6	323	△ 10.8	1.47	0.09
6月	604	36.3	339	△ 5.0	1.78	0.54
7月	609	24.8	348	△ 3.1	1.75	0.39
8月	511	8.7	343	△ 7.0	1.49	0.22
9月	528	15.5	352	1.4	1.50	0.18
10月	499	5.1	326	△ 7.1	1.53	0.18
11月	557	16.5	317	0.3	1.76	0.25
12月	538	9.3	317	13.6	1.70	△ 0.06
2年1月	531	△ 2.2	327	2.8	1.62	△ 0.09
2月	553	△ 5.8	322	△ 1.5	1.72	△ 0.08
3月	545	5.6	329	△ 5.5	1.66	0.18
4月	512	△ 3.4	323	△ 0.3	1.59	△ 0.05
備考	管内Bの合計値					
担当部課	海事振興部船員労政課					

(注)年計の数値は、当該年の月平均の数値である。

## VI 造船

年 月	造 船					
	新 造 船					
	竣工量 (総トン数)	前年同期比 (%)	受注量 (総トン数)	前年同期比 (%)	竣工船価 (百万円)	前年同期比 (%)
30年計	4,364,243	6.5	1,052,539	△ 47.9	455,712	△ 8.8
31年計	4,982,067	14.2	775,539	△ 26.3	527,831	15.8
31年3月	497,629	7.5	190,849	△ 62.5	78,113	21.7
4月	487,257	50.0	0	0.0	34,659	18.4
元年5月	520,095	73.0	50,000	△ 5.7	61,055	149.1
6月	367,481	△ 34.3	1,130	△ 98.9	36,043	△ 45.9
7月	534,405	10.8	65,200	0.0	50,581	31.0
8月	420,990	67.2	89,000	1005.6	43,874	37.8
9月	306,994	17.3	148,600	243.2	36,742	25.0
10月	463,112	72.8	60	0.0	40,358	69.1
11月	326,245	△ 23.1	44,500	5.5	33,058	△ 32.5
12月	356,910	16.2	186,200	211.9	21,605	△ 12.1
2年1月	624,260	80.7	223,520	0.0	54,134	24.1
2月	329,433	△ 7.3	17,900	0.0	55,475	15.3
3月	441,306	△ 11.3	223,750	17.2	46,679	△ 40.2
備考	管内B主要 13社の合計値					
担当部課	海事振興部船舶産業課					

～凡 例～

1. 特記しない限り、「年度」は4月1日から翌年3月31日まで、「暦年」は1月1日から12月31日までとした。
2. 各欄に単位未満の数値がある場合は、原則として四捨五入した。従って、合計値と内訳数値が一致しない場合がある。
3. 用語の使い分けは、次のとおりである。  
「管内A」・・・福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県の7県  
「管内B」・・・上記九州7県及び山口県西部(下関市、宇部市、山陽小野田市、長門市)  
「前年同月比」・・・各項目における対前年同月比を百分率で増減を示す。



Ⅶ 備 考  
地域経済動向

年 月	個人消費等				鉱工業生産・出荷・在庫指数		
	消費支出 (名目)	大型小売店 販売額	百貨店 販売額	スーパー 販売額	生産	出荷	在庫
	前年同期比 (%)	前年同期比 (%)	前年同期比 (%)	前年同期比 (%)	前年同期比 (%)	前年同期比 (%)	前年同期比 (%)
30年計	2.8	△ 0.3	0.1	△ 0.4	△ 0.1	0.8	6.3
31年計	△ 1.0	△ 0.9	△ 3.7	0.5	△ 2.8	△ 1.8	5.5
31年4月	△ 3.3	△ 1.6	△ 3.7	△ 0.6	△ 3.2	△ 3.2	8.1
元5月	△ 1.1	△ 0.6	△ 2.7	0.5	△ 2.6	0.6	4.7
6月	3.8	0.3	△ 3.0	2.0	△ 6.4	△ 4.9	6.3
7月	1.6	△ 3.9	△ 6.3	△ 2.7	△ 3.2	△ 1.0	9.0
8月	3.2	△ 0.3	△ 5.6	1.9	△ 5.4	△ 4.5	4.4
9月	△ 3.7	11.6	14.2	10.4	3.2	3.4	6.4
10月	13.7	△ 9.9	△ 17.6	△ 6.0	△ 4.2	△ 3.9	7.4
11月	△ 7.0	△ 3.2	△ 9.2	0.5	△ 2.3	△ 3.7	7.9
12月	△ 6.9	△ 3.4	△ 7.6	△ 0.9	△ 1.5	△ 0.4	△ 0.8
2年1月	△ 7.2	△ 2.3	△ 8.4	1.1	△ 3.2	△ 3.0	1.5
2月	△ 7.3	△ 2.0	△ 15.6	5.0	△ 7.0	△ 6.6	4.4
3月	3.1	△ 10.7	△ 30.1	△ 0.9	△ 3.1	△ 7.0	4.2
4月	0.2	△ 25.7	△ 73.0	△ 4.9	△ 13.5	△ 17.6	1.9
地域区分	A	B			A		
出典等	家計調査報告 (勤労者世帯) 総務省	商業統計、大型小売店販売動向 (大型小売店販売額は百貨店販売額 及びスーパー販売額の合計) 経済産業省			九州主要経済指標(鉱工業生産動向) 経済産業省		

年 月	新設住宅 着工数	公共工事 請負高	雇用情勢		物価
			有効 求人倍率	企業 倒産件数	消費者 物価指数
	前年同期比 (%)	前年同期比 (%)	(倍)	(件)	前年同期比 (%)
30年計	△ 1.7	1.9	1.49	593	0.9
31年計	△ 4.5	△ 2.8	1.47	652	0.5
31年4月	△ 14.1	10.2	1.52	52	0.7
元5月	△ 2.9	△ 17.0	1.49	52	0.6
6月	△ 6.1	△ 15.3	1.49	54	0.7
7月	1.3	2.6	1.47	65	0.5
8月	△ 4.0	4.9	1.47	49	0.4
9月	△ 6.1	5.5	1.46	53	0.4
10月	△ 1.7	10.4	1.44	52	0.4
11月	△ 16.9	△ 0.5	1.43	55	0.6
12月	△ 12.4	9.3	1.45	63	1.0
2年1月	△ 3.9	33.4	1.38	66	0.8
2月	△ 9.4	9.8	1.34	46	0.7
3月	△ 10.8	39.7	1.28	57	0.7
4月	△ 23.8	2.7	1.22	62	0.5
地域区分	A	A	A	A	A
出典等	建設着工統計 国土交通省	公共工事前払 金保証統計 西日本建設業保証㈱	職業安定 業務統計 厚生労働省	倒産月報 (負債増額100 万円以上) ㈱東京商工リサーチ	消費者 物価指数 総務省

地域区分A: 沖縄県を除く九州7県  
 地域区分B: 沖縄県を含む九州8県  
 各年計欄は、当該年の平均数値を示したものである。